テーマ

「自然」

品川区立滝王子保育園

対象年齢　全園児（１～５歳）

テーマ設定の理由

園庭や戸外活動時、子どもが砂や土、水、虫、植物などに触れて遊ぶ中で、身近な自然に興味をもっている姿が見られることから虫や自然物の生態や特性について子どもの興味関心をさらに深めるためにこのテーマを設定した。

活動①　４歳児クラス

〈ねらい〉

砂や水の心地よさや変化に気づく

〈用意した環境〉

バケツ、スコップ、カップ、タライ、泥団子用の砂、さらさらの砂、ダンゴムシの虫かご、空き箱

〈活動内容〉

水や砂を使いながら変化や感触を楽しんだり、園庭の植栽を使って見立て遊びをしたりする

〈子どもたちの様子〉

クラスで飼育しているダンゴムシの世話や砂場遊び（水路作りや山作り）を通して子どもたちは砂に水をかけると感触が変化していくことや砂場に水を入れると泡ができることに不思議さを感じ、繰り返し試したいことを確かめながら遊ぶ姿が見られた

〈保育者の振り返りと気づき〉

砂場では友達と協力して水路を作り、泥や水の変化、砂の色の違いに気づくなど遊びの中で発見を楽しんでいた。また一度にたくんの水を運ぶために様々な容器を使いながら水の運び方を工夫するなど繰り返し遊ぶ中で考える力も育っていた

活動②　１歳児クラス

〈ねらい〉

身近な自然に触れながら遊ぶ中で、興味や関心を広げていく

〈用意した環境〉

・低い玩具棚（ペットボトルを切った物、大きなスコップ、レンゲやスプーン、透明の容器）、ベンチ丸椅子、バケツ、きんかんの実、ひめりんごの実、園庭のハウス

〈活動内容〉

様々な用具を自由に選んで砂やきんかん、ひめりんごなどの自然物を使って遊ぶ

〈子どもたちの様子〉

砂がスコップからさらさら落ちる様子や、園庭に落ちている落ち葉を拾って触った時の音を繰り返し楽しんでいた。また、キンカンやひめりんごの実は匂いを嗅ぎ、お皿に入れてままごとの見立て遊びをしていた。友達がやっている様子を見て興味をもって真似する姿も見られた

〈保育者の気づき〉

玩具を含めた環境の設定を変えたことで、子ども自身が主体的に環境や自然と関わって遊ぶ姿が見られた。子ども自身が自然に触れながら感じたことや気づいたことに共感しやりたいことを汲み取りながら一緒に形にしていくことで、満足感にも繋がっていた。意図的な環境設定と自然環境を組み合わせることで、子どもたち自身の「やってみたい」思いが広がりを見せていた。

■成果・課題・次年度以降に向けて

園庭の環境や教材、自然物を見直し、子どもたちが自然や身近な物と関わりをもちながら主体的な環境作りに取り組んだ。

▼

子ども同士の気づきや会話がきっかけとなり「どうしてだろう？」「やってみよう」と試行錯誤する姿が多く見られ、遊びが深まった。

子どもたちが自ら使いたい物を選び遊びを継続発展させていく様子から主体性や探求心、表現する力の育ちを感じた。

子どもの興味や探求が深まる場面においてどのようなタイミングで関わることが大切なのか、環境を整えた後も継続して見直しや工夫を重ねていくことが大切である。

子どもたちの「やってみたい」「もっと知りたい」という気持ちを大切にしながら日々の遊びが豊かになる環境作りをしていきたい。